

お知らせ

記者発表資料 | 平成27年 7月10日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成27年度 中国地方整備局入札監視委員会 総会及び第一部会第1回定例会議の議事概要について

中国地方整備局入札監視委員は平成27年度総会及び第一部会の第1回定例会議を平成27年6月15日（月）に開催しました。

総会では委員長の選出、委員の所属部会の指名等を行い、第一部会定例会議では平成27年1月1日から平成27年3月31日までの間に発注した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した10件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

総会及び第一部会定例会議の議事概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

（第一部会）082-221-9231（代表）

主任監査官	あかぎ まもる 赤木 護	(内線2114)
総務部 契約管理官	きのした かずたか 木野下 和孝	(内線2222)
企画部 技術開発調整官	なかがわ てつし 中川 哲志	(内線3120)

（第二部会）082-511-3900（代表）

総務部 総括調整官	はらだ かおる 原田 薫	(内線103)
総務部 経理調達課長	みちばた ひろし 道端 宏司	(内線130)
品質確保課長	なかがわ てつや 谷川 哲也	(内線250)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	ひらかわ まさふみ 平 川 雅 文	(内線2117)
企画部 環境調整官	た お かずなり 田 尾 和 也	(内線3114)

総 会

1. 開催日時及び場所

平成27年6月15日（月） 14時00分～14時30分
広島合同庁舎第2号館 1階 共用第18会議室

2. 議事概要

- ・委員長の選出及び委員長代理の指名
- ・委員の所属部会の指名

「3. 委員名簿」のとおり、委員長、委員長代理の選任と、各委員の所属部会の指名がされました。

3. 委員名簿

委員長 (第一部会)	たけした ゆうじ 竹 下 祐 二	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
委員長代理 (第二部会)	たむら こういち 田 村 耕 一	広島大学大学院法務研究科教授
委員 (第一部会)	かわい けんじ 河 合 研 至	広島大学大学院工学研究院教授
委員 (第一部会)	ひらの みのる 平 野 実	県立広島大学経営情報学部教授
委員 (第一部会)	ふくだ かずえ 福 田 和 恵	公認会計士・税理士
委員 (第一部会)	みずなか せいぞう 水 中 誠 三	弁護士
委員 (第二部会)	たかみ かつひこ 高 海 克 彦	山口大学大学院理工学研究科准教授
委員 (第二部会)	やまと たかお 大 和 資 郎	中国経済連合会常務理事

- ※ 第一部会は港湾空港関係を除く事項について審議
- ※ 第二部会は港湾空港関係の事項について審議

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成２７年　６月１５日（月）　１４時３０分～１８時００分 中国地方整備局　建政部　３階会議室		
委員	部会長　　　　　竹下　祐二　（大学院教授） 部会長代理　　水中　誠三　（弁護士） 委　員　　　　　平野　実　（大学教授） 委　員　　　　　福田　和恵　（公認会計士・税理士）		
審議対象期間	平成２７年１月１日　～　平成２７年３月３１日		
抽出案件	総件数　１０件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙１のとおり	
○工事			
一般競争入札方式 （WTO 対象）	１件		
一般競争入札方式 （WTO 対象外）	５件		
○建設コンサルタント業務等			
簡易公募型競争入札方式	１件		
公募型プロポーザル方式	１件		
簡易公募型プロポーザル方式	１件		
○役務の提供等及び物品の製造等			
一般競争入札方式	１件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答	
	別紙２のとおり	別紙２のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

抽出事案一覧表

【工事】

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認したものの数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
総社一宮バイパス今岡第1高架橋PC上部工事	プレストレスト・コンクリート工事	12	12	平成27年1月28日	(株)ピーエス三菱	622,944	89.01	岡山国道事務所

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
百間川中島堤防その2工事	一般土木工事	16	16	平成27年3月26日	蜂谷工業(株)	254,016	89.12	岡山河川事務所
安芸バイパス神原高架橋鋼上部工事	鋼橋上部工事	7	7	平成27年3月17日	片山ストラテック(株)	116,748	89.06	広島国道事務所
太田川矢口排水機場地盤改良外工事	グラウト工事	3	3	平成27年1月13日	肥海建設(株)	160,920	89.48	太田川河川事務所
中海旗ヶ崎水門機械設備新設工事	機械設備工事	8	8	平成27年2月20日	西田鉄工(株)	81,648	90.77	出雲河川事務所
苫田ダム放流制御設備工事	通信設備工事	5	5	平成27年2月3日	日本無線(株)	112,860	96.70	苫田ダム管理所

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
土師ダム堆砂測量業務	測量	10	10	平成27年1月5日	シンワ技研コンサルタント(株)	8,035	76.54	土師ダム管理所

○公募型プロポーザル方式

業務名	業種区分	参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
尾道検察支部設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	5	5	平成27年1月21日	(株)都市環境設計	56,700	99.98	営繕部

○簡易公募型プロポーザル方式

業務名	業種区分	参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
国道191号中津橋外詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	12	5	平成27年3月13日	(株)ウエスコ	37,800	99.77	山口河川国道事務所

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
応急組立橋架設点検	役務の提供等	1	1	平成27年1月27日	日本鉄塔工業(株)	12,744	98.58	中国技術事務所

意見・質問	説明、回答
1. 第一部会部会長及び部会長代理の選出	
部会開催にあたり、第一部会長に竹下委員を、部会長代理に水中委員を選任しました。	
2. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 Q 1. 災害復旧工事にて低入札が 10 件発生しているが、一般的に緊急を要する災害復旧工事などでは低入札が多くなるという事か。 Q 2. 指名停止運用で物品購入契約において納期までに納入出来ないことを理由に契約解除され、指名停止された案件があるが、具体的にはどういった事か。	A 1. 今回の広島土砂災害における復旧工事について業者へ低入札ヒアリングを実施した結果、応急復旧作業にて現地状況を熟知している事や、地元業者として復旧工事により地域に貢献したいとの気持ちから利益部分である一般管理費を削るなどした事から低い応札率となったとの事であった。 このため低入札であっても、工事品質等については問題無しと判断し、全工事について落札決定を行ったものである。 A 2. 発注前に指名停止となった者を含む数者から参考見積を徴収し、納期も確認したうえで発注を行ったが、契約後に落札した者から納期に間に合わないという申し出があり、契約解除を行ったものである。
(2) 抽出事案審議	
1) 総社一宮バイパス今岡第 1 高架橋PC上部工事 Q 1. 技術評価点が満点の業者が 4 者いるが、評価点が同じ満点であれば入札価格が一番安い社が落札者になるという事で良いか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 技術評価点が満点であれば、調査基準価格以上で一番低い価格の応札者が落札者となる。 本件では入札価格だけで見ると、もっと安い価格の業者もいる中で、技術評価点との兼ね合いで安価でかつ高い技術力を持った者が落札しており総合評価落札方式がうまく機能したものと言える。
2) 百間川中島堤防その 2 工事	

Q 1. 総合評価の評価項目である工事成績評定点について各社でかなりばらつきがあるように見受けられるが、工事成績評定は具体的にはどのように行われるのか。 Q 2. 各業者から評定点について異議申し立ては出来るのか。 Q 3. 参加可能者数 25 者に対し、入札説明書ダウンロード社数が 39 者で想定者数を上回っているが、どのような理由からか。 Q 4. 有資格登録がなくてもダウンロード出来るという事か。 Q 5. 技術提出資料の宛先が間違っただけで無効となった社があるが、資料の郵送先を間違っただけという事か。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 工事成績評定点については 5 百万を超える全ての工事に対して行っている。具体的には各工事毎に工事の施工状況や出来映え、工事中における地元への貢献度などの項目について、主任技術評価官、総括技術評価官、技術検査官により点数をつけ、その後評定委員会で審議後、最終的な評定点を各社へ通知している。 A 2. 評定点に対する質問を受け付け、それに対して回答するような制度となっている。 A 3. 39 者の内訳を確認したところ、想定していた工事施工業者以外にもコンサルタント、下請等を行う専門業者などがダウンロードを行っている。このためダウンロード者数が上回るという状況になっている。 A 4. その通りである。 A 5. 郵送先ではなく、資料内の宛名が間違っていたという事である。宛名（発注者名）の誤りによる無効については入札説明書及び整備局 HP においても無効となる事例として対外的にも周知を行っているものである。
3) 安芸バイパス神原高架橋鋼上部工事 Q 1. 総合評価の評価項目及び加算点の配点については事前に公表されていて、参加業者はあらかじめ自社の配点について自己採点は出来るのか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 評価項目は入札説明書に記載されており、各社が加算点をある程度事前に想定する事は可能である。
4) 太田川矢口排水機場地盤改良外工事 Q 1. 参加可能者数 97 者、入札説明書ダウンロード社数 22 者とある程度の業者数があってもかかわらず、参加申請 3 者と極端に少ないのは、何か原因が考えられるか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. ダウンロード社数については先程の工事と同じくコンサル、メーカー、専門業者等がダウンロードしている。 また当工事と同時期に太田川の災害復旧工事を多数発注しており、技術者の重複等の理由により参加申請者が少なくなったものと推測される。
5) 中海旗ヶ崎水門機械設備新設工事 Q 1. 2 者が追加資料の提出を求めたが提出がなく無効となったという事だが、未提出となる背景や考えられる理由はあるのか。	A 1. 2 者は調査基準価格以下の応札であり、総合評価方式において低入札に該当すると品質確保の観点から施工体制について多数の追加資料の提出を行うことになる。 また提出しても施工体制の評価項目において多くの加算点は見込めない事などから、資料提出における労力を勘案して提出を行わない業者も多いのではないかと推測される。

Q 2. 過去に総合評価方式にて低入価格で応札した者が落札した事例はあるのか ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 2. 全ての参加業者が低入札であった場合などには落札者となった事例もある。
6) 苫田ダム放流制御設備工事 Q 1. 落札率が 96.6%と高く、かつ応札 5 者のうち 3 者が予定価格超過となっているが、理由は考えられるか。 Q 2. 本工事は放流制御設備を 10 年ぶりに更新する内容であるが、一番設備内容を熟知しているはずの前回契約業者の入札価格が他の業者と比較してかなり高いのはなぜだと考えられるか。 Q 3. 技術提案にて定格消費電力の低減計画を評価項目としているが、入札結果を見ると必ずしも低減率の高い業者が落札者とはなっていない。 消費電力の低減は将来的な維持費の削減につながるため、もっと配点を高くするなど、評価方法を見直す必要もあるのではないか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 本件は機器費が積算の主となっている工事であり、機器費については土木工事と違い標準的な歩掛が無いことから参加業者から見積を徴収し、一番安い見積を予定価格として採用する事から、全体的に応札率が高くなる傾向がある。 A 2. 今回は機器設備の更新であり、従前とは設備内容も大きく変わっており、単純比較する事は難しいため、入札価格が高い理由については不明である。 A 3. 本件の技術提案では定格消費電力の低減によるコスト削減という側面だけでなく、低減を図る技術力について評価を行ったものである。また他の電気設備・通信設備工事等においてはコスト削減金額を入札価格に直接反映させる入札も行っている。今回の意見は今後の発注の参考とさせていただきたい。
7) 土師ダム堆砂測量業務 Q 1. 入札価格が同じ者が 4 者あり、くじびきを行ったという事だが、各業者の評価点は入札には反映しないのか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 簡易公募型競争のうち価格のみで競争する方式においては各業者の評価点は指名業者を選定するためだけに使用され、入札は指名業者による価格競争となる。
8) 尾道検察支部設計業務 Q 1. 技術提案の評価項目に「業務の理解度及び取組意欲」があるが、どのようにして評価しているのか。 Q 2. 資料にある「建設コンサルタント選定委員会」とは毎回特別な委員会を組織して評価を行うのか。 Q 3. 設計業務においては土木工事のように地元企業の育成の観点から参加要件を地元業者に限るといった地域要件は入れないのか。	A 1. 技術提案の提出業者全てにヒアリングを実施しどのような考えや体制で業務を行うかなどについて確認を行い評価している。 A 2. 局、事務所とも内部委員会として指定した職員により設置しており、委員会から選任された者がヒアリングを行い、その結果を基に選定委員会にて審議を行い、最終的な評価を決定している。 A 3. 発注においては競争性の確保と地元業者の育成について考慮しているところである。 本件のように業務の技術的難易度が比較的高く地元業者だけでは一定の競争性の確保が困難と思われる場合においては地域要件を緩め、技術力を重視する形で発注を行う場合もある。

○本件入札・契約は適正であると判断する。	
9) 国道191号中津橋外詳細設計業務 Q 1. 本件では箇所の離れた二つの橋梁についての詳細設計を同時に発注しているが、理由はあるのか。 Q 2. 技術提案の評価値を決める「建設コンサルタント委員会」は内部職員のみで構成されているのか。外部の意見は反映しないのか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する	A 1. 二つの橋梁のうち片方の橋梁は規模が小さく、技術的難易度も高くなかったため、まとめて発注を行った方が事務の軽減が図れ、効率的であるとの判断から同時に発注したものである A 2. 建設コンサルタント委員会は、内部職員にて構成されているが、入札手続中の技術提案の特定の際には外部委員で組織される総合評価審査委員会で評価内容についての審議を得てから手続きを進めるようになっている。
10) 応急組立橋架設点検 Q 1. 本件のような役務の場合、予定価格はどのようにして作成しているのか。 Q 2. 本件では参加が1者のみで見積依頼も1者のみとの説明だったが、通常は2者以上から見積を徴収し、その価格が適正であるか判断するのではないか。1者では不十分なのではないか。 ○本件入札・契約は適正であると判断する。	A 1. 基本的には競争参加資格を確認した者から見積を徴収して予定価格を作成している。ただし、参加者が1者のみの場合などには過去の参加業者等へも見積依頼し、作成している。 A 2. 本件については前回の点検業者（随契）が廃業していたという状況もあり、1者のみからの見積徴収となったが、前回の入札価格の内訳を参照し、適正な価格であるとの判断を行ったものである。

(3) 再苦情処理の報告 該当事案なし	
平成27年度 入札監視委員会 第2回定例会議（第一部会） 平成27年9月28日（月） 14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 平野委員	